

- 問1 1世紀半ば、日本の小国の一つであった奴国の王が、中国の王朝である後漢へ使者を送った時期の社会状況として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 巨大な前方後円墳が築造されるようになり、その周囲には死者を供養するための埴輪が並べられた。 | 2. 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐる集落間の争いが起こるようになった。 | 3. 狩猟や採集を生活の中心とし、ナウマンゾウなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていた。 | 4. 仏教による国家の安定を図るため、聖武天皇の命によって全国各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 |
|--|--|--|---|
- 問2 3世紀の日本の様子を伝える中国の歴史書『魏志倭人伝』の記述に基づき、当時の社会や統治の状況として正しい説明はどれですか。
(2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| 1. 邪馬台国の女王である卑弥呼が、乱れていた多くの国をまとめ、約30の国を従えていた。 | 2. 埴田永年私財法が制定され、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることが認められた。 | 3. 唐から来日した鑑真が仏教の戒律を伝え、国内の寺院の整備が進められた。 | 4. 聖徳太子が冠位十二階を定め、家柄にとらわれず才能のある人物を役人に登用した。 |
|--|--|---------------------------------------|---|
- 問3 3世紀の日本において、30余りの小国を従えていた邪馬台国の女王は、中国の王朝である魏に使者を送りました。この女王が魏の皇帝から授かった称号として正しいものはどれか。
(2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|---------|----------|
| 1. 漢委奴国王 | 2. 倭王武 | 3. 親魏倭王 | 4. 征夷大將軍 |
|----------|--------|---------|----------|
- 問4 縄文時代に続く弥生時代に使われた土器は、それ以前の縄文土器と比べて薄くて硬く、赤褐色をしていることが多いという特徴があります。この土器の名称として正しいものはどれか。
(2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. 弥生土器 | 2. 黒色土器 | 3. 須恵器 | 4. 土師器 |
|---------|---------|--------|--------|
- 問5 弥生時代の遺跡からは、中央に2つの穴が開いた半月形の石器が数多く出土します。この道具を用いた当時の収穫方法と、その特徴について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。
(2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|---|
| 1. 穴に紐を通して指にかけ、熟した稲の穂先のみを摘み取る「穂首刈り」を行っていた。 | 2. 複数の石器を組み合わせて土を掘り起こし、田植えの前の耕作に使用していた。 | 3. 石器の鋭い側面を使い、脱穀のために稲の茎から籾をこすり落としていた。 | 4. 穴に長い木の柄を取り付け、稲を根元から一気に刈り取る「根刈り」を行っていた。 |
|--|---|---------------------------------------|---|
- 問6 中国の歴史書である『後漢書』東夷伝には、1世紀半ばの57年に倭の奴国の王が使者を送り、皇帝から印綬（印と紐）を授かったという記述があります。このとき授けられたとされる「漢委奴国王」と刻まれた金印が、江戸時代に発見された現在の福岡県にある場所はどこですか。
(2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 壱岐 | 2. 対馬 | 3. 種子島 | 4. 志賀島 |
|-------|-------|--------|--------|
- 問7 弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用方法について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|
| 1. 収穫した後の脱穀を行うために用いられた | 2. 稲を根元から刈り取るために用いられた | 3. 稲の穂の部分の摘み取るために用いられた | 4. 土を掘り返して苗を植えるために用いられた |
|------------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------|
- 問8 1世紀に倭の奴国の王が中国の後漢へ使者を送り、光武帝から金印を授かった背景として、当時の小国の王たちの目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|---|
| 1. 仏教などの新しい宗教を中国から導入し、国民の精神的な団結を図るため。 | 2. 中国からの軍事支援を直接受け、近隣諸国を武力で一気に統一しようと考えたため。 | 3. 中国の皇帝から地位を認められることで、自国の権威を高め、周囲の国々に対して有利に立つため。 | 4. 遣隋使や遣唐使のように、進んだ律令制度を学び取り、日本独自の憲法を制定するため。 |
|---------------------------------------|---|--|---|
- 問9 兵庫県神戸市の桜ヶ丘町などで出土した、釣り鐘のような独特の形をした弥生時代の青銅器について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この青銅器の表面には、当時の生活の様子や幾何学的な文様が描かれていることがあります。
(2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. 縄文時代の集落で見つかる、魔除けのために作られた土偶である | 2. 魏の皇帝から邪馬台国の女王に贈られたとされる銅鏡である | 3. 狩猟や農耕の様子が描かれた、祭祀に用いられた銅鐸である | 4. 古墳の副葬品として納められた、馬に装着する鉄製の装具である |
|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
- 問10 中国の歴史書『魏志倭人伝』に記録されている邪馬台国の女王卑弥呼は、当時の中国の王朝である魏に使いを送りました。卑弥呼がこのような外交を行った背景や、その結果として得た称号について述べた文として正しいものはどれですか。
(2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 自らの権威を高めるために中国と通じ、皇帝から「親魏倭王」の称号を授かった。 | 2. 白村江の戦いでの協力を依頼するため、皇帝から「日本国王」の称号を授かった。 | 3. 大陸の優れた青銅器技術を独占するため、皇帝から「遣隋使」として認められた。 | 4. 仏教を日本に広めるための援助を求め、皇帝から「倭王武」の称号を授かった。 |
|--|--|--|---|
- 問11 弥生時代に大陸から伝わり、豊作を祈るむらの祭りや儀式で使われたと考えられる、釣鐘状の青銅器は何ですか。
(2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 土偶 | 2. 埴輪 | 3. 石包丁 | 4. 銅鐸 |
|-------|-------|--------|-------|
- 問12 弥生時代から江戸時代までの外交上の主なできごとを整理した記録において、3世紀に邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送り、皇帝から「親魏倭王」の称号を授かった目的や背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2017年 高山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 中国の強力な王朝との外交関係を築き、その権威を背景に国内の統治を安定させ、周辺諸国との関係を有利に進めるため。 | 2. 「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かることで、北九州の奴国を中心とした小国の連合体を統一し、女王の地位を証明するため。 | 3. 先進的な仏教文化や律令制度を日本に導入し、天皇を中心とした中央集権国家の基盤を早急に固めるため。 | 4. 朝鮮半島南部での鉄資源の確保を目的として、中国の王朝と軍事同盟を結び、高句麗や百濟に対抗するため。 |
|--|---|---|--|
- 問13 紀元1世紀ごろ、日本の小国の王が、中国の皇帝に対して貢ぎ物を送る「朝貢（ちょうこう）」を行い、金印を授けられた主な理由や背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 中国の進んだ仏教文化を日本に導入するために、僧侶を派遣する正式な許可を得るため。 | 2. 中国の皇帝から王としての地位を認めてもらうことで、国内における支配の正当性を高めるため。 | 3. 大陸で勢力を強めていた高句麗に対抗するため、中国と軍事同盟を結ぶ必要があったため。 | 4. 日本国内の統一を成し遂げたことを報告し、中国への輸出関税を免除してもらうため。 |
|---|---|--|--|